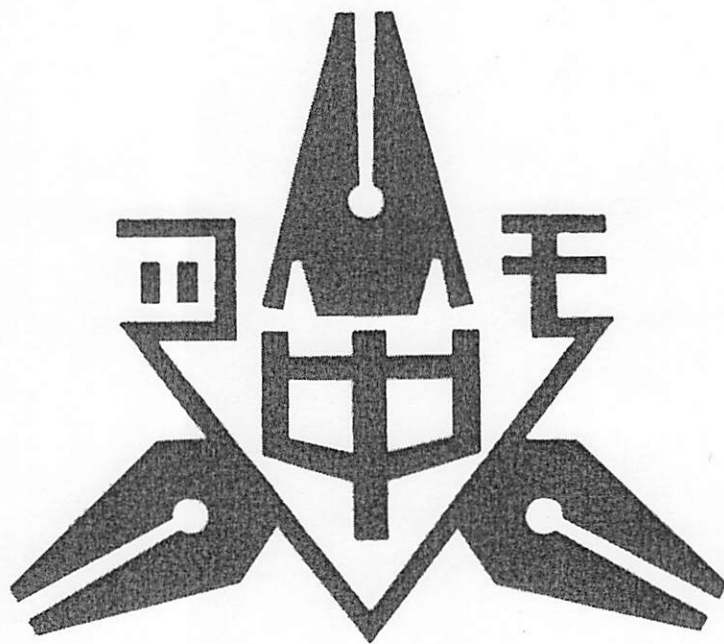


第3学年

1学期末保護者会



令和5年7月13日(木)

14:50~15:10 全体会受付

15:10~ 全体会

15:30~ 学年懇談会

進路保護者会

柏市立土中学校

1 学期の成長と夏休みのお願い

柏市立土中学校 校長 井上 隆広

保護者の皆様、1学期の教育活動に御理解と御協力をありがとうございました。令和5年度当初の入学式、保護者会でお伝えしたとおり、今学期は新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、様々な教育活動を再開し、さらに変革をしながら教育活動を進めてきました。

この教育活動を進めることができたのも、保護者の皆様のご理解とご協力のお陰と感謝しております。

本校においては、保護者会などでも説明をさせていただきましたが、「学びから自分の考えを持ち、自分の言葉で伝える」ことを生徒目標に掲げて教育活動を行っております。毎日の授業の中では様々な場面で、自ら考えその考えを言葉で伝える場面を多く設定するよう授業を組み立てています。その中で他者の考えにも触れ、一人一人が成長できるよう取り組んでいます。

また、各行事においても各活動を通して同様の目標を設定し実施をしてまいりました。

1学期においては、大きな行事として体育祭と3年生の修学旅行がありました。この行事の中で、様々な場面で自ら考えそれを仲間や友人に伝えながら、実際にどのような活動、取組を進めればよいのかを試行錯誤しながら取り組んでまいりました。そのこと一つ一つが、生徒の成長を促すことになっていると思います。

さて、42日間の長い夏休みを迎えます。充実した生活を送るためにも、夏休みの目標をしっかり立て、計画をもって過ごしてほしいと思います。夏休みは普段の生活では、なかなかできないことが経験できる期間です。実際に経験することは、成長を必ず促してくれます。ぜひ、貴重な経験をした夏休みにしてほしいと思います。また御家庭にお願いしたいことは、以下の3点をお願いします。

- 1 1学期の学習の総復習のお願い。
- 2 SNS等との賢い付き合い方を話題に。
- 3 自転車の正しい乗り方を今一度確認を。

9月1日(金)に一回り成長した全校生徒の皆さんと会えるのを楽しみにしています。

令和 5 年 7 月 13 日

保護者各位

柏市立土中学校
生徒指導部

夏休みの生活について

保護者の皆様には、本校の教育活動について、ご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、間もなく1学期が終了し、42日間にわたる夏季休業に入ることとなります。夏季休業は家庭を中心として、生徒たち自身がさまざまな場面で自己管理をしながら生活する期間です。

本校では休業前に、日々のスケジュールを立てさせ、達成可能な目標を持たせるように細かく指導しております。ご家庭におかれましても適切な指導・助言をしていただき、有意義な夏季休業が送れますよう、重ねてご支援、ご協力をお願い申し上げます。

1 夏休みについて

- ①心身の休養と健康の保持増進のために、規則正しい生活リズムを持たせる。
- ②それぞれの状況に応じた学習や、活動を進める。
- ③学校を離れて、社会教育・家庭教育のよい機会ととらえ、視野を広げ個性を伸ばす期間とする。

2 生活について

- ①生活のリズムが崩れないように、規則正しい生活を心がける。
- ②事前に立てている計画が実行できるように、時々声かけをお願いします。
- ③金銭の浪費を避けさせ、物を大切にする習慣をつける。
- ④家族の一員として、家庭の中で役割を分担させ、手伝う。
- ⑤よりよい成長のため、お子さんと話をする機会を持つよう、お願いします。

3 外出について

- ①行き先・用件・帰宅予定時刻・同行者等を告げていく習慣をつけさせてください。
- ②日没後の外出には十分注意をさせ、いわゆる不審者による被害の防止に努めさせてください。
- ③家族が同伴している場合を除き、祭礼や盆踊りなどの地域の行事に参加する場合、夜遅くにならないよう、帰宅時間についてご指導ください。
- ④夜間の外出に関して、千葉県には条例があり、午後11時以降の青少年だけの行動は、補導の対象となります。
- ⑤柏駅周辺の繁華街で、青少年が被害に遭うことが多くあります。不要な金銭を持って、無目的に行かないようにご指導してください。特に、ゲームセンターやカラオケボックスでは、他校生や高校生との接触の機会が増しますので、十分にご注意ください。

4 健康について

- ①十分な睡眠・栄養がとれるようにご配慮ください。特に、朝食は毎朝食べるようお願いいたします。
- ②学校から治療勧告の出ている疾病については、この期間に治療させてください。また、事後に治療証明書を、担任に提出してください。

5 学習について

- ①学習の目標や計画については、一人ひとりに指導致しますが、計画通りに進められているかは、声をかけ、励ましてください。
- ②苦手とする教科にも取り組むように学校では指導します。声かけや、励ましの言葉をお願いします。

6 事故防止について

- ①携帯電話やパソコンの使い方にもご注意ください。
 - ・スマートフォンのLINEや、インスタグラムを通じてのやりとりからのトラブル、いわゆるワンクリック詐欺などの被害に遭うことがあります。
 - ・携帯電話、スマートフォンに起因するトラブル、特にSNS関係のトラブルが多発しています。フィルタリングや使用制限を約束事で設けるなどの予防策にご配慮ください。
 - ・画像や個人を特定できる情報を、SNSに無断転用や掲載する事案が増えています。サイバーパトロールからの連絡も増える時期です。十分に気をつけさせてください。
- ②中学生は自転車使用時に事故に遭うことが多くなっています。自転車の整備状況を確認させ、夜間はライトを点灯するよう、ご指導お願いします。
- ③水難や花火遊びに起因する事故が起りやすい時期です。安全面についてご配慮ください。特に水難に関しては、地震による津波やゲリラ豪雨による急激な増水等に十分ご注意ください。
- ④特に以下の事柄には、ご注意ください。
 - ・花火をした後の始末をしっかりと行わせてください。人に向けたりしないように注意をお願いします。
 - ・工事現場に立ち入るなどの危険な行為がないよう、ご注意ください。
 - ・家庭にある自動車やバイクの鍵の保管にご配慮ください。
 - ・自転車も法律上は軽車両です。二人乗りや右側を走ることは違反となるだけでなく、事故につながります。注意をお願いします。携帯電話を使用しながらの運転もさせないようにしてください。
 - ・出先で、地震による津波、悪天候による落雷、竜巻に遭遇する場合に備え、避難対応を事前に確認するよう、ご指導ください。

7 その他

- ☆不審者などの被害を受けた場合は、110番通報をお願いします。また、その他の問題が発生した場合もすぐにご連絡ください。

増尾駅前交番 7173-6231

土中学校 7172-4809

◇ 疾病、むし歯の早期治療にご協力をお願いします

1学期に定期健康診断を実施した後に、治療や検査の必要な生徒に対して、「治療勧告書」を配付しております。夏休みは集中的に治療を受けられるチャンスです。「子ども医療費助成制度」の使用も可能です。この期間を有効に利用して、計画的に治療を済ませるようご家庭での指導をお願いします。

また、お子さまの通知表ファイルに今年の健康診断の結果を記載した健康カードをつづってありますので、お子さまとお読みください。

◇ 引き続き、かぜ症状やその他の感染症の予防をお願いします。

5月8日に第5類に移行した新型コロナウイルス感染症ですが、6月下旬よりまた流行し始めました。また、今年は他にもインフルエンザをはじめ様々な種類のかぜも流行っており、引き続き手洗いや換気などの予防対策を行う必要があります。夏休み中もご家庭でのお子様の健康管理をよろしく願いいたします。

① 部活動の参加、学校への登校も必ず朝の健康状態を確認して参加させてください。

夏休み中に発熱やかぜ症状、体調不良が認められた時は、外出を控え、家で様子を見ていただきますようお願いいたします。体調不良の場合に無理に参加しますと、この時期は熱中症のおそれもあります。健康観察表は必要ありませんが、朝の健康観察を必ずしていただきますようお願いいたします。

② 欠席する際は、学校にご連絡をお願いいたします。

夏休み中の部活動などで登校の予定があった日に、上記の体調不良がみられる場合は、登校せず、家で休養するようお願いいたします。その際には、ラインの「つながる連絡」または学校にご連絡いただきますようお願いいたします。

◇ 熱中症対策をお願いいたします。

熱中症で搬送されるニュースが多く報道されていますが、今年は異例の暑さが続いています。外出時や登校の際には、帽子や日傘などの熱中症対策を行うようにさせてください。また、登校時には、必ず水筒をお子様を持たせるようお願いいたします。1日に必要とされる水分を飲む量は、約1.2リットルとされています。暑い中での活動時に失う水分のこともふまえて、十分な量を飲むように、いつもより大きめの水筒や、小さな水筒であれば、数本を持たせるようにしてください。

◇ 規則正しい生活をさせましょう

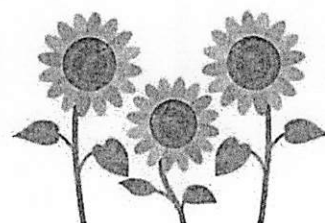
中学生に必要とされる睡眠時間 8時間～9時間

① 学校生活と同じリズム（起床時刻・食事・就寝時刻）で過ごさせましょう。

寝不足や朝食抜きで部活動を行うと、熱中症になる危険があります。毎日の睡眠、毎日の食事、特に朝ごはんはしっかり食べさせてください。

② 暑さに負けない生活をしましょう。

暑さに備えて、体力をつけるビタミン類、ミネラル、タンパク質の豊富な食事を摂るようお願いいたします。



1学期の授業の様子

| | |
|-----------|---|
| <p>国語</p> | <p>1学期は、「春に」(詩)、「立ってくる春」「なぜ物語が必要なのか」(随筆)、「俳句の味わい」(俳句)、「私」(小説)、「メディアリテラシはなぜ必要か」(メディア)を学習しました。今学期は、「課題をどのように解決するのか」、つまり、解答を導くための「過程や根拠」に重点を置いて、授業を行いました。自分のノートにたくさん、根拠を明確にしながらか自分の考えを書いたり、話し合いの中で考え方の修正をしていたり、意欲的に取り組んでいました。</p> <p>さて、夏休み中に初見問題に取り組むと思います。その際にも、ただ問題を解いて〇つけをするのではなく、思考の過程や根拠が合っているのかを意識して、問題を解いてみてください。解答が間違っていたとき、過程や根拠のどこで間違っていたのかが明確になると、思考力がどんどん伸びていきますよ！！</p> |
| <p>数学</p> | <p>第1章 式の計算、第2章 平方根、第3章 2次方程式 について学習しました。毎日の2分間テストでは、基礎基本の問題を解くことができるようになってきています。また、時間を意識して解くことで入試に向けても準備ができてきました。この夏休みは、入試に向けて、自分に合う問題集を1冊決め、ポイントを絞って何ができるようになるかを決めて、それを目標に取り組んでいくと良いと思います。</p> |
| <p>英語</p> | <p>今学期は不定詞の応用や間接疑問文、間接話法(that節の文)など、かなり複雑な文型が新出の文法として取り上げられました。3年生になって、文の構造が難しくなり、内容の読み取りも難易度が上がってきているにも関わらず、意欲的に授業に取り組む生徒がとても多く、関心しています。ワークやノートにも、自分で気づいたことや、大切だと思ったことを書き込む生徒が増え、最高学年としての高い意識が感じられます。夏休みは授業ではなかなか触れることができない、長文問題に時間を割き、色々なタイプの長文(説明文や対話文、メール形式、道案内など)に慣れていけると、これからの入試対策を効率的に進められると思います。</p> |
| <p>理科</p> | <p>1学期の理科では、物理分野の「運動とエネルギー」を学習しました。普段生活している際の身の回りの現象が、「なぜそのようになるのか」ということを中心に学習しました。1, 2年生のときとは異なり、実験の方法やまとめ方を班で協力し、考え実践しました。非常に難しい取り組みでしたが、意見出し合い取り組んでいる姿が印象的でした。2学期には、生物分野と化学分野を学習します。</p> |
| <p>社会</p> | <p>歴史が現代史まで終わり、歴史分野の学習が完了しました。その後、公民に進み、現代社会の特徴から未来の様子を予言したり、日本国憲法の成り立ちや権利について学んだりしました。3学年になり、自ら計画を立てて進路開拓の準備ができることを目指しています。そこで社会科として学習課題のスタート地点とゴール地点を明示し、自分で学習計画を立てることと学習成果を振り返ることを繰り返し、一人ひとりが学習方法を確立することを目指した自由進度学習に取り組んでいます。自分の力を客観的に判断することで、無理のない計画と期限を守るための計画の間で、葛藤しながら授業に取り組んでいます。</p> |

| | |
|--------------------|--|
| <p>音楽</p> | <p>滝 廉太郎の歌曲「花」を学習しました。歌詞の内容や情景、旋律の抑揚を感じ取った上で、自分は曲のどこの部分をどのような声でどう歌うかを考えて独唱をし、思った通りの演奏ができたかを検証しました。3年間で身につけた表現力を合唱フェスティバルの発表の場で、思い切り発揮してほしいと思います。</p> |
| <p>美術</p> | <p>1学期は、日本美術についての学習と篆書（実印などに使われる古い書体）の練習に取り組みました。学習態度は集中して真面目に取り組んでいます。そろそろ彫刻に入ろうとしているところです。よい作品ができあがることを期待しています。</p> |
| <p>保健体育</p> | <p>1学期は「新体力テスト」「集団行動」「陸上競技」「器械体操」「水泳」を行いました。体育祭練習では、学級で協力し、リーダー中心に全校を引っ張りました。また、陸上競技と器械体操を選択して取り組んでいます。自分の記録向上や、技の習得に励みました。夏休みは適度に体を動かす習慣をつけ、暑さに負けないようにしましょう。</p> |
| <p>技術・ 家庭科</p> | <p>技術科：技術では、テーブルタップを作りました。細かい作業にも集中して意欲的に取り組んでいました。各クラス、毎回の授業でジャージ忘れが数名いたので、2学期は忘れずに授業に参加してほしいと思います。</p> <p>家庭科：幼い頃を思い出し、幼児期の遊びについて学びました。「ころころサイコロ」作りでは、みんなとても意欲的で、楽しく作っています。完成が楽しみです。</p> |

夏休みの課題一覧（3学年）

| 教科 | 内容 | 提出日 |
|----|---|----------------------------------|
| 国語 | 課題作文（詳しくは授業で説明します） | 9月1日（金） |
| 数学 | 各自で2学期のテストや入試に向けて必要な課題を進める。 困ったら授業中にお手伝いします。 | なし |
| 英語 | □エイゴラボ③ P63 までを○付け、丁寧な直しを行って提出すること。 ※ラボの中にある並べ替え問題のみをピックアップして 学期明け最初の授業でテストするので準備しておく。 | ラボの提出は 最初の授業の終了後 回収します。 |
| 理科 | 1～3年で行った中間・期末テストを大問10題分を解く。 ※テスト問題はクラスルームにアップします。 | 9月1日（金） |
| 社会 | ①税の作文・人権作文・お金の作文などに挑戦したい方は終業式 までに谷中に声をかけてください。（キャンセルする場合は終業式 まで） ②9月4日（月）の実力テストの学習に取り組んでください。 | ①は、9月1日（金）に提出 完了です。 ②は提出なし |
| 音楽 | なし | |
| 美術 | 特にありません | |
| 保体 | 食事・休養・運動！バランスよく過ごしてください。 | |
| 技術 | ありません | |
| 家庭 | ありません | |
| 総合 | ①夏休み中に、公立高校、私立高校、最低1校ずつ（公立を受 けない予定の人は私立2校以上もOK）の説明会や体験入学、 部活動体験などに参加してくること。そして、その体験校に 対する報告書を1枚ずつ記入し、提出する。 ②進路の三者面談を通して志望校を2～5校くらいに絞り、自 分の勉強法を確立させて、力を伸ばす。（夏休み後半の模擬 試験では、偏差値プラス5の伸びを目指せ！） | 報告書は9/1の始業式で 提出すること |

第1回 学年進路保護者会資料

1. 実施日 令和5年7月13日（木） 会場：体育館（予定）
時間 15:10 全体会、 15:35～16:45 学年懇談会（進路保護者会含む）

2. 進路保護者会の主な内容（担当）

- （1）学年懇談会（生活面：横瀬 行事面：西上 健康面：片岡）
- （2）学習面について （神戸）
- （3）昨年の進路実績 （西上）
- （4）今年度の進路の流れ （神戸）
- （5）進路選択における注意点（神戸）
- （6）質疑応答 （三学年職員）

3. 保護者会資料の内容

- ① 今年度の3年生の現状と昨年の卒業生の進路報告
- ② 学習状況・夏休みからの学習について
- ③ 進路年間計画＋今後の具体的な動き（大まかな流れ）
- ④ 進路選択のポイント
- ⑤ 「推薦を受ける」ということは、どういう意味なのか？
- ⑥ 公立・私立校情報
- ⑦ 千葉県私立高校保護者の負担軽減・支援に関するお知らせ（資料コピー）

進路を決めるにあたって

1. 通知票や実力テスト、定期テスト、外部の模擬試験などの結果は、総合的にみるようにしましょう。良い結果ばかりを信じこんで合格を想定したり、悪かったものばかりを軸にしてマイナスな自己判定をしたりせず、自分の力を冷静に判断することが大切です。また、テストの成績（点数や偏差値の数値）だけに注目するのではなく、そこから自分の苦手分野や不得意な教科を分析して、学習法に活かすようことを心がけましょう。
2. 二者面談、三者面談は、全てのお子様を対象として実施するので、どうしても時間に制限が生じます。事前にご家庭におかれまして親子の話し合いを十分にした上で、面談には臨んでください。迷いや疑問などについては、前もって担任に相談してください。
3. 中学校内の願書の提出や高校への出願、振り込みなどの期日は、必ず守って提出して下さい。校外の“一般社会”は中学校内の教科の提出物忘れのようには、期日遅れを大目に見てくれません。高校への出願書類の時だけ気を付けようと思っても、どうしても日頃のだらしない面は常に出てしまいがちです。普段から提出物の期限を守る意識を高くもち、出願本番に備えて訓練していきましょう。受験料の振り込みやインターネット出願などは、1秒でも遅れた時点でアウトです。
4. 受験することが決まっている、または受験を考えている高校は、夏休みのうちから必ず自分の足で公共交通機関を使って、訪問しておきましょう。その際、できれば保護者も一緒に行くことができますと良いです。
5. 私立高校の推薦制度は、相手校と中学校の信頼関係によって成り立つものです。「推薦でお願いします」と安易に伝えて「やっぱりやめました」ということは非常に困ります。親子合意（ご家庭の総意）の上で決定し、正式な書類を持って担任と確認していきますので、その点はご了承ください。また、推薦に値する生徒たちに推薦制度は適用してまいりますので、生徒のみなさんには、自分の長所や得意な部分をより一層伸ばしてほしいです。そして、学校生活においてまだ十分ではない部分は出願に向けて補えるよう頑張してほしいと思います。
6. 夏休みは、部活動を引退し、次の日の体力の心配をする必要もなくなるため、入試に向けて夜遅くまで勉強するような生活リズムにシフトしてしまう人たちが出てきます。また、塾からの帰宅も遅くなる人もでてくるでしょう。ただし、受験は午前中から実施されます。生活のリズムを崩すことなく、自己管理ができるようになることも、入試を成功させる大きなポイントとなるので、夏休みは生活リズムに対して、高い意識をもっていきましょう。

令和4年度 卒業生進路状況

| 千葉県公立高校 | 男子 | 女子 | 合計 |
|----------|----|----|----|
| 県立船橋 | 1 | | 1 |
| 葉園台 | | 1 | 1 |
| 鎌ヶ谷 | 1 | 1 | 2 |
| 鎌ヶ谷西 | | 1 | 1 |
| 県立松戸 | | 1 | 1 |
| 小金 | 2 | 1 | 3 |
| 松戸国際 | | 2 | 2 |
| 松戸六実 | | 3 | 3 |
| 松戸向陽 | | 2 | 2 |
| 柏南 | 2 | | 2 |
| 柏陵 | 3 | 2 | 5 |
| 柏の葉 | 1 | | 1 |
| 柏中央 | | 2 | 2 |
| 沼南高柳 | 3 | 2 | 5 |
| 流山 | | 1 | 1 |
| 流山おおたかの森 | | 2 | 2 |
| 野田中央 | 1 | | 1 |
| 我孫子 | 4 | | 4 |
| 我孫子東 | | 2 | 2 |
| 流山北 | 1 | 1 | 2 |
| 白井 | 1 | | 1 |
| 市立柏 | 1 | | 1 |
| 合計 | 21 | 24 | 45 |

| 特別支援学校 | 男子 | 女子 | 合計 |
|--------|----|----|----|
| 流山高等学園 | 2 | | 2 |
| つくし | 1 | | 1 |
| 合計 | 3 | 0 | 3 |

| 千葉県私立高校 | 男子 | 女子 | 合計 |
|-----------|----|----|----|
| 芝浦工業大学柏 | 1 | 1 | 2 |
| 麗澤 | 1 | 2 | 3 |
| 日本体育大学柏 | 1 | 3 | 4 |
| 我孫子二階堂 | 1 | | 1 |
| 流通経済大学付属柏 | 1 | 3 | 4 |
| 東葉 | 1 | 1 | 2 |
| 東海大学付属浦安 | 1 | | 1 |
| 敬愛学園 | | 1 | 1 |
| 昭和学院 | | 1 | 1 |
| おおぞら | | 1 | 1 |
| わせがく | | 1 | 1 |
| 飛鳥未来 | 1 | | 1 |
| 興学社 | 1 | | 1 |
| 合計 | 9 | 14 | 23 |

| 県外高校 | 男子 | 女子 | 合計 |
|----------------|----|----|----|
| 東洋大学附属牛久 | 3 | 4 | 7 |
| 江戸川学園取手 | 1 | | 1 |
| 土浦日本大学 | 1 | 1 | 2 |
| 青山学院 | | 1 | 1 |
| 実践学園 | | 1 | 1 |
| 岩倉 | 1 | | 1 |
| 鶴岡東 | 1 | | 1 |
| Cambridge H.S. | | 1 | 1 |
| 合計 | 7 | 8 | 15 |

| 集計 | 男子 | 女子 | 合計 |
|---------|----|----|----|
| 千葉県公立高校 | 21 | 24 | 45 |
| 千葉県私立高校 | 9 | 14 | 23 |
| 特別支援学校 | 3 | 0 | 3 |
| その他 | 7 | 9 | 16 |
| 合計 | 40 | 47 | 87 |

1. 令和5年度 土中学校第三学年の学力状況

(3年1学期 5/26実施の資料を参考にしております)

(1) 今年度の土中学校3学年生徒は、千葉県の平均と比べ、ほぼ同じくらいのレベルです。理科や社会に関しては、その時点で学習している單元ではなく、1～2年時の内容も多く含まれるため、例年平均点は低めに出ています。

校内の定期テストも、次第に受験形式のスタイルが増えてきて、複合的・応用的な問題が出題されるようになってきていますが、授業態度や家庭学習において、かなり受験生としての自覚が見られるようになってきています。ワークやノートのページにも各自のメモやまとめが記入されていたり、休み時間に学習内容の質問や勉強法を尋ねにくる生徒たちが増えてきました。また、授業中の挙手発表やグループ活動にも積極的に取り組む人たちが増えてきています。(以下は今年度の5月に実施された実力テストの結果です)

①各教科の平均点 国語51点 数学55点 英語57点 理科51点 社会45点

②3教科合計の平均点 163点/300点(県平均 点)

③5教科合計の平均点 259点/500点(県平均 点)

(2) テスト結果の見方

①定期テスト(中間・期末)も実力テストも、5教科の平均点と、標準点、校内の順位(3教科・5教科)が記載されています。ただし、定期テストは予告されたテスト範囲を元に、狭い範囲で出題されているため、日頃から授業にコツコツと取り組んでいるタイプの生徒は点数を取りやすい、という傾向にあります。

それに対して、実力テストは出題の範囲が広く、応用問題が多く出題されるため、入試問題に近い傾向となっています。3年生になると実力テストは年間4回実施され、千葉県内の中学生の平均点に対する標準点が算出されるなど、生徒が志願する高校の合否の可能性を換算することができます。

土中学校の進路指導は、上記の標準点をもとに、1～3年生までの間に積み重ねた9教科の成績の合計値(学習面の内申点)と照らし合わせて、公立高校の合否の可能性をアドバイスします。また、私立高校においては、単願推薦(第1希望の推薦制度を利用する受験)や併願推薦(第2希望以下の推薦制度を利用する受験)についても、希望や迷いがあれば、学年職員として推薦制度の活用相談や手助けをしていきますので、何でも聞いてください。

2. 夏休みからの受験勉強の進め方

今年度の土中学校3年生の学習への取り組みは、全体的にとっても真面目であり、意欲的です。しかし、どの教科においても基礎基本を活用して、思考判断が求められるような問題を苦手としている生徒がとて多いと思います。近年の入試問題の出題傾向は、暗記型ではなく、身に着けた知識をどう活用するかを問われることが多いので、夏休み以降は学習方法を工夫する必要があります。

(1) 基礎基本を確認する学習と応用問題（複合的な問題）を解答する学習を意識して組み合わせる。

→学習の目的に応じて、活用する教材（問題集や参考書）を正しく選びましょう。例えば、基礎基本を覚えたかどうかを確認したいのか、それともその知識を活用する力が身に着いたかを試したいのか、ということです。

(2) 苦手な単元の復習を目的としているのか、それとも活用する学習単元がわからない状況で問題を解く勉強がしたいのか。

→授業で採用されているワークは、学習する単元が明確になっているため、問題を解く際も、解き方がわかりやすいです。しかし、実際の入試問題は、どんな単元を活用するのは自分で見出さなければなりません。この手順をしっかり考えずにやみくもに受験勉強をしても、あまり効率的とはいえません。

(3) 実力テストや外部の模擬試験を有効活用する。

→家庭や塾などで問題集を解答することによって、学習の理解度を測ることはできます。しかし、より受験会場に近い環境下で緊張感を持って問題を解くことも時には必要です。また、外部の模擬試験を受験すると、校内の実力テストとは異なり志望校の合否の判定が出たり、苦手分野を分析して教えてくれます。1ヶ月に1回は実力テストや模擬試験を受けて、自分の学力を知ったり、学力の伸びを把握することをお勧めします。

(4) 夏休み後半からは、志望校の過去問題集を準備して取り掛かる。

→公立高校も私立高校も、出題傾向がそれぞれ違います。ただし、例年同じような形式で出題されていることも事実です。夏休みの前半で基礎基本を身に着けて、応用問題にも慣れてきたら、得意な教科からでよいので、志望校の過去問題集を準備して徐々に慣れていくと良いです。

(5) 逆算の思考で各教科の学習時間を組み立てる。

→あまり時間が取れない時は、一問一答形式の勉強や英単語や熟語、漢字の練習、社会の用語の暗記などの学習を行い、じっくり時間を取るときには国語の説明文の問題や英語の長文問題、数学の証明問題などに勉強時間を充てる。また、外部の模擬試験や実力テストの日程に合わせて毎日の勉強スケジュールを逆算して設定する。そういう発想も大切です。

3. 今後の進路選択の流れ

第1希望は私立高校にするか、公立高校にするか？ どちらにせよ、私立高校を受験希望校に含む場合は、まずは受験する私立校を確定させるべきです。なぜなら、多くの人たちが私立校を受験する際に推薦制度を利用するからです。

私立校を第1希望にする推薦を『単願推薦』と言います。また、私立校の推薦制度を活用して、第2希望以下で受験するケースを『併願推薦』と言います。私立校の推薦基準は、1学期の通知票の成績（5科または9科）とする場合がほとんどです。推薦制度で受験するということは、中学校長から、3年間の中学校での生活態度や学習成績が保証されていることを意味するので、ほとんどの生徒が合格の判定をもらうことができます。

また、公立高校を第一希望とする場合、最終決定は1月に入ってからでも間に合いますが、私立高校の出願は12月早々から、入試は1月上旬からとなります、このように、推薦入試の特徴や出願期日、受験の日程から考えても、まずは私立校を決めることが先決なのです。

【通常の進路決定の流れ】

- ①7月の二者面談：担任の先生と第1希望と私立校の受験の有無についての話し合い
- ②夏季休業期間の三者面談：受験する私立校を2～3校に絞り、推薦制度の活用を話し合う
- ③夏季休業中に開催される私立・公立高校の説明会や体験入学、部活動体験などに参加する
- ④9月の実力テスト：私立の単願推薦、併願推薦を活用する学校を決めたら、自分の通知票の成績と照らし合わせて、推薦基準に足りているかを判断する。もし志願する高校の基準に成績が足りない場合は、2学期の成績アップを目指して頑張りましょう。
- ⑤10月後半の二者面談：具体的な第1希望校（公立 or 私立）を絞り、推薦制度（単願・併願との）を活用する私立高校を確定させる。
- ⑥11月上旬の最終三者面談：保護者の方と生徒本人が志願する高校の確認をする。（ただし、その際第1希望校に成績が足りない場合は、12月の模擬試験の結果を判定基準とするケースもありえます。）
- ⑦12月上旬：受験する私立校のエントリー・出願・受験料振り込みなどを済ませる。
第1希望を公立校とする場合は、2日目の受検内容（自己表現や面接、作文など）の準備を始めます。
- ⑧1月上旬～中旬：私立高校の受験・合否の発表、手続き。第1希望の公立高校の出願準備。
- ⑨2月上旬～中旬：第1希望の公立校の出願・志願変更
- ⑩2月下旬・3月上旬：公立校の受検・合否発表・手続き

入学を確定させた私立校の正式手続き完了

4. 進路選択のポイント

(1) 進路先を決定するための様々なポイント（例：高校進学を選択する場合）

- 将来的に大学進学を目指したいので、大学進学に力を入れている高校を選ぶ。
- 大学受験に対して、上位コース(特選コースや選抜コースなど)が設定されている高校を選ぶ。
- 大学進学の際に多少でも余裕を持ちたいので、私立大学の付属高校を選ぶ。
- 就職に有利な資格が取りやすく、就職に力を入れている高校を選ぶ。
- スポーツや看護、国際理解(英語など)に強い学科がある高校を選ぶ。
- 高校でも中学校時の部活動を継続して行いたいので、それが可能な高校を選ぶ。
- 専門的な技術を習得したい、趣味をいかした進路先に進みたい、という希望があるので、調理や美容、芸術系、デザイン、建築、農業、工業系などの専門学科(職業科)のある高校を選ぶ。
- 生徒会活動や学校行事などを生徒主体で進められるような活動的な高校を選ぶ。
- その学校独自の校風や伝統が非常に気に入ったので、〇〇高校を選択する。
- 男子校、女子校という中で高校生活をおくりたいので、〇〇高校を選択する。
- 放課後の時間を自分のために有効に活用したいから、登下校に時間がかからない高校を選ぶ。
- 中学校生活とは違う、新しい環境で高校生活を送ってみたいから、土中学校からはあまり受験しないような高校(県外や学区外の公立校など)を選択する。
- 経済的な問題から公立高校を選択する。→ただし、最近は私立校に対する経済的困難をサポートしてくれる制度がたくさんあるので、市役所や教育委員会などの関係機関にいろいろと相談すべきです。この資料後ろにも参考にすべきプリントが添付されています。

(2) 目指す高校の学力をどのように考えるか。

- 自分は、自分の学力より高い人が集まる高校にいる方が、追いつこうと思ってより力を伸ばせるタイプである →自分の学力判定より高めの学力を必要とする高校を選ぶべきである。
- 自分は、高校生活を勉強ばかりに振り回されることなく、マイペースに過ごしたいタイプである →学力的には余裕を持って高校選択をすべきである。
- 高校入学後はその高校の指定校推薦を使って、大学進学を目指したい →入学時から成績が上位をキープできるような高校選択をすべきである。

(1) と (2) の考え方を参考にして、真剣に考えたうえで『〇〇高校に行きたいという理由』を明確に持って受験勉強に臨んでください。それが、勉強に対して最もモチベーションを持って頑張れるパワーとなるはずだからです。『入学できるところなら、進路先なんてどこでもいいや!』なんていういい加減な考え方で大切な自分の人生を捉える人なんていませんよね?

「推薦を受ける」ということは、どういう意味なのか？

推薦制度は、中学校と高等学校との信頼関係の上に成り立っていますので、高校側から出される学力基準を満たすだけでなく、卒業までの中学校生活、そして高校3年間をしっかりと送っていける人物であるという保証が必要とされます。「生徒会長を務めた」「全国大会に出場した」などの突出した実績だけが必要なのではありません。大切なのは「当たり前前」のことが「当たり前」にできる」ことです。これができなければ、中学校としては推薦することはできません。以下のような、当たり前前ことができているか振り返ってください。

- ①登校や2分前着席、課題の提出期限など、時間の約束が守れる。
- ②あいさつや返事が常にしっかりできている。
- ③毎日の清掃活動に真剣に取り組んでいる。
- ④リーダーとして任された集団に対して広い視野を持ち、適切な指示を出すことができる。
- ⑤宿題をきちんとやる。授業に熱心に参加する。発表に積極的に取り組める。
- ⑥合唱や話し合い活動などの学級での活動に、意欲的に取り組んでいる。
- ⑦服装などの身だしなみに気を配ることができ、誰に対しても正しい言葉づかいができる。
- ⑧班やクラスの仲間に対して、思いやりある行動を取ることができる。
- ⑨給食当番や班の活動など、集団において任された役割をしっかり果たす。
- ⑩学校のルールを守り、社会におけるマナーに対して高い意識が身についている。
- ⑪他者からの指摘を素直に聞き入れて、自分自身や集団を向上させようとする素直さがある。
- ⑫失敗することがあっても、素直に認めて謝る行動をとることができる。

<私立高校の推薦制度について>

1. 推薦制度の種類

私立高校の中には、推薦受験制度を設けている学校があります。それらの制度は大きく分けると・・・

- ・単願推薦（その学校が第1志望で合格したら必ず手続きをして、そこに入学する）
- ・併願推薦（他の高校を第1志望とし、その学校を第2志望以下と考えて受験する）

の2種類があります。この制度を利用するにはいくつかの条件を満たしていなければなりません。

- (1) その学校の学力推薦基準に達していること。
- (2) 人物的に保証できること。」などがあります。（この推薦基準は各学校で異なります）

これらの制度を利用して受験をすると、合格の可能性が上がりより有利に扱われます。ただし、合格が確実に保証されているわけではありません。

2. 単願推薦について（高校によっては「専願」「A推薦」などと呼ぶ場合もあります）

単願推薦（第一志望、合格したら必ず入学）と併願推薦（他校が第一志望で該当校は第2志望以下）では、合否決定の基準に差をつけているところがあり、多くの場合、単願が優先されます。学力の推薦基準においても差があり、単願推薦の学力推薦基準は併願推薦の基準よりも低く設定されています。第1志望校に考えている学校が、この制度を設けている場合は、まずはこの制度での受験を検討しましょう。

3. 併願推薦について（高校によっては「B推薦」「併推」などと呼ぶ場合もあります）

併願推薦（他校を第一志望とし、該当校は第2志望以下の希望であること）では、単願推薦よりも、学力の推薦基準が高いのが基本です。当日の試験では、一般受験をする生徒よりも、合格の可能性が高くなるという利点があります。いわゆる「第2希望の高校（または第2希望以下の高校）」は、この制度を活用して受験することが適していると言えます。

その場合、該当校の合格後、第1志望校の合否が出るまで延納を認めてくれるケースがほとんどであり、手続きが不要な高校もありますが、合格後に書類の提出が必要であったり、出願時に申し出が必要であったり、一時金(5万円前後の延納金)を納入しなければならない高校があったりします。指定された期間内に手続きをしない場合、合格を取り消されてしまいますので、あらかじめ書類などをよく調べておいてください。また、一部、私立高校との併願を認めていない高校もありますので注意してください。

4. 入試相談について

上記のような単願・併願推薦の制度を採用している高校は、該当する高校と受験生がいる中学校との間で、『入試相談』という事前面談があります。その面談によって“推薦制度を活用して受験することができるか”が決定します。『入試相談』の時期は11月後半～12月中旬に行われるケースがほとんどです。

指定される学力基準を満たしていなくても、英検や漢検といった資格を持っている、中学校でのリーダー経験がある、部活動での高い実績・記録がある、などの加点項目が提示されている場合、推薦制度による受験が認められる場合があります。推薦基準に関する詳しい項目は、各校のHPに公表されていたり、学校説明会で教えてくれます。また、中学校の先生に書類が届いている場合もありますので、志望校を絞ったら、担任の先生に質問するとよいでしょう。

5. 一般受験の学力の基準を受験資格として扱う高校について

学力基準（通知票の5科合計や校内順位、偏差値など）を受験資格として扱う高校があります。これらの高校は入試相談を行わず、基準を満たす受験生だけで入試を行い、合否を判定するという方法をとるケースもあります。その場合は多少の優遇を受けますが、入試相談を通して受験する場合ほど、合格の可能性が高くなることはありません。一方、入試相談を行う学校の場合は、推薦受験者と一般受験者との中で合否を決めるため、一般受験者と比較すると推薦受験者の合格の可能性は、かなり高くなります。

6. その他の補足事項

私立校の合否決定方法は、学校によって大きく異なります。

面接試験、作文を課す学校は、それらも合否の判定に大きく左右します。

（どのようなことを質問されるのか、どんなテーマで書くのかについて事前に調べる必要があります。）

7. 推薦制度の流れ

- (1) 本人、保護者がよく話し合い、家族の決定としてその学校を受験するという事を確認します。
- (2) 担任に相談し、推薦要件（推薦の様々な条件）を確認し、本人がその要件を満たしているか家族で話し合い、その後担任に相談し、推薦で受験できる可能性があるかどうか担任と話し合います。
- (3) 秋の三者面談後、11/16(木)までに「最終進路希望確認書」と一緒に「推薦願」を提出します。
- (4) 「推薦願」は学年及び学校内で検討され、最終的に校長の承認を得られた末に、土中学校として推薦するという形になります。その会議を通ったら、担任がその結果を本人・ご家庭に連絡します。
- (5) 中学校では教員が入試相談に赴き、推薦の意向を志望先の高校に告げ、見通しなどを話し合ってきます。入試相談の次の日に、推薦受験の可否について生徒本人に直接伝えます。

●特に注意してほしいこと●

推薦制度は、中学校と高等学校との信頼関係の上に成り立っていますので、条件が満たされない場合は、学校としては推薦することはできません。従って、上記の条件を十分ご家庭で検討し、ご理解いただいてから、担任にご相談下さい。また、推薦願を提出したら、願いを取り下げることができません。単願推薦で受験し合格した場合、必ずその学校に進学しなければなりません。また、併願推薦をとった学校以外は、志望が上位の高校に合格した後、下位の志望校に出願していても、受験をしないということが原則です。

* 推薦基準の例 1,2

例 1. A 高校 (5段階評定の5科計)
 特別進学コース【単願】5科 20
 特別進学コース【併願】5科 22
 進学コース 【単願】5科 15
 進学コース 【併願】5科 17
 ※3年次の成績に1がないこと

例 2. Y 高校 (5段階評定の5科計) (5段階評定の9科計)
 普通科【単願】 5科 18 または 9科 32
 普通科【併願】 5科 20 または 9科 36
 ※3年次の欠席が10日以内(遅刻は3回で欠席1の扱い)
 英検、漢検、数検いずれかの3級以上取得者は+1ポイントとする。ただし加点の上限はプラス2まで。

* 志望例 1 A 高校を単願推薦で受験する場合

第1希望 A 高校(私立)
 【単願推薦】
 第2希望 B 高校(私立)
 第3希望 C 高校(公立)

【絶対条件】

- ①どんな理由があろうとも、A高校を受験しなければならない。
- ②A高校に合格した場合、必ずA高校に入学しなければならない。
- ③A高校に合格した場合、その合格発表日より後に受験があるBとC高校の受験はやめる。(受けても進学はできないこととなっているため)

(志望例 2) F 高校を併願推薦で受験する場合

第1希望 D 高校(公立)
 第2希望 E 高校(私立)
 第3希望 F 高校(私立)
 【併願推薦】

【絶対条件】

- ① 基本的にF高校に出願、受験しなければならない。
- ② 先にE高校に合格しても、F高校を受験しなければならない場合や延納金を納めなくてはいけない場合があるので、担任としっかりと確認する。
- ③ D高校(公立)は第1希望として受験することができる。

◎推薦制度を活用して受験することを考えている、希望している場合は、早めに申し出てください。

- ・単願、併願ともに推薦制度を利用する受験は、合格の可能性が高くなります。
- ・推薦制度を利用する場合は、高校側が独自に提示する基準があります。その基準を満たし、学力面・人物面等で推薦に値する力、つまり土中側からの推薦が必要とされます。
- ・私立高校への推薦を希望する場合は、別紙「推薦願」を提出してもらいます。最終進路希望書が提出されてから、基本的に中学校側から高校に相談に足を運びます。その後、高校側に推薦受験が可能かどうかを検討・判断してもらい、その結果を本人を通じてご家庭にお知らせします。

従って「推薦願」を提出した場合は取り消しができません。ご家庭で十分に話し合ってから提出して下さい。

私立高校の入試日程と推薦制度

1. 入試日程（昨年度、参考）

| | 前期（推薦）入試 | 後期（一般）入試 |
|---------|----------|----------|
| 千葉県私立高校 | 1月17日～ | 2月15日～ |
| 東京都私立高校 | 1月22日～ | 2月10日～ |
| 茨城県私立高校 | 1月9日 | 1月15日～ |
| 埼玉県私立高校 | 1月22日～ | 2月1日～ |

2. 推薦制度の概要

（1）推薦制度の種類

多くの私立高校では、推薦制度を取り入れています。推薦には次の2通りがあります。

単願推薦—当該私立高校を第一志望で受験し、合格した場合には必ず入学することが条件です。

併願推薦—当該私立高校を第二志望以下で受験する場合で、他の公立・私立高校も受験が可能です。

（2）推薦の条件

各私立高校が定めます。概ね次のような条件が必要です。

①学習成績が当該私立高校が定める基準を満たしていること。

* 成績は3教科、5教科ないしは9教科の通知票の成績を基準とする高校が多く、時期は3年次の1学期（前期）又は2学期のものとする場合が多いです。

例・A高校（普通科）の場合

単願推薦：5教科評定15又は9教科27、併願推薦：5教科16

②欠席、遅刻や早退が少ないこと。

（3）合格の目安

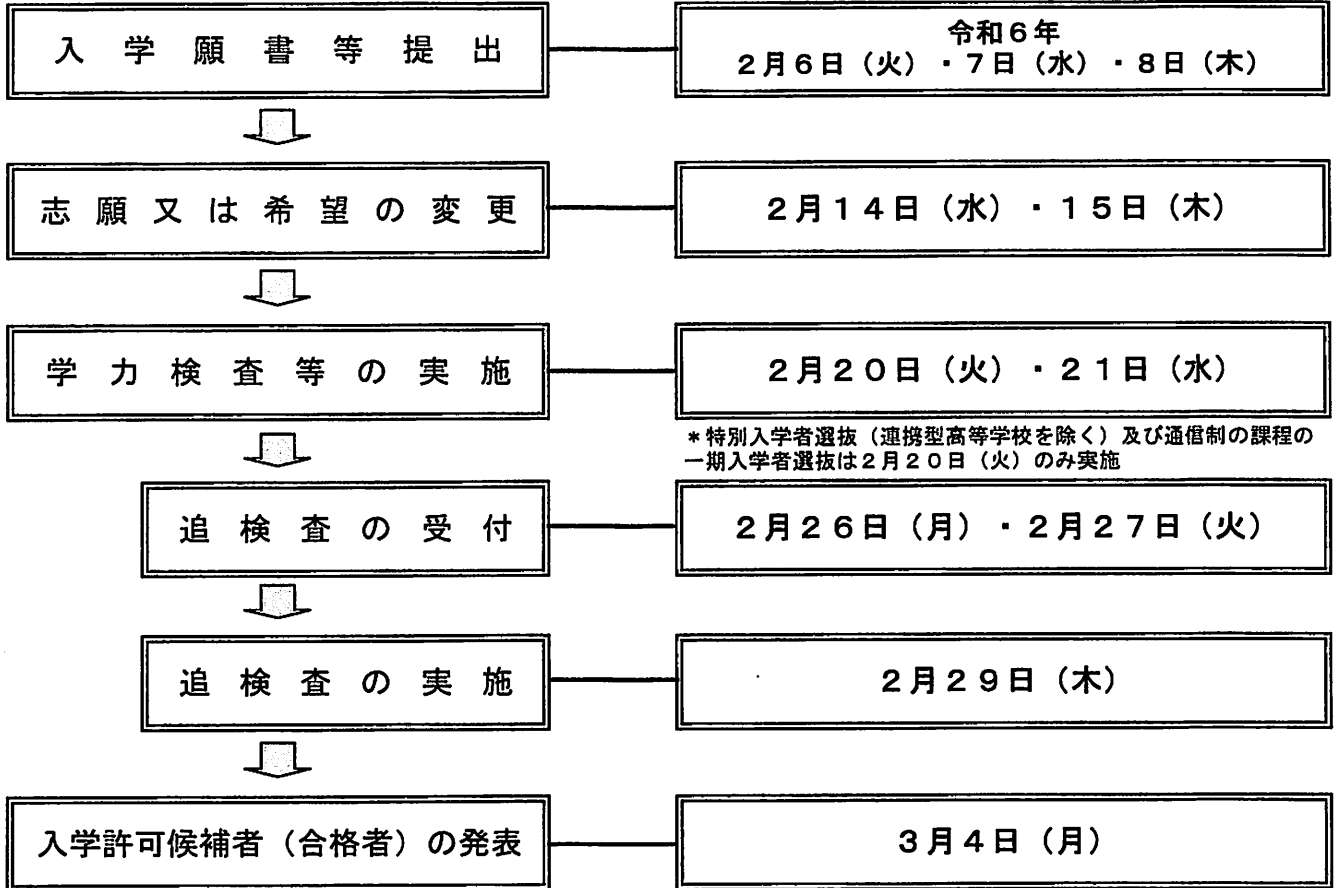
推薦条件を満たし、かつ事前相談がなされた場合は、おおむね合格となります。

学力上位の私立高校の場合には、上記のような推薦制度は設定されていません。この場合、入試の可否は入学試験の得点が重要視されます。

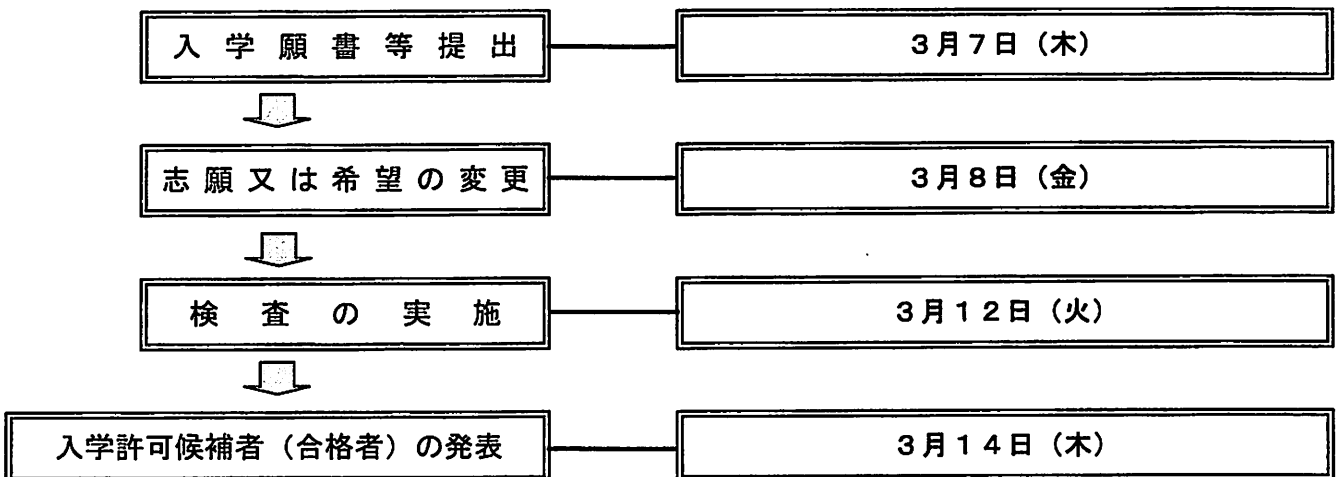
| 千葉県公立高校 | | ① | ② | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ⑧ | ⑨ | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ⑳ | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | ㉑ | 30 | 31 |
|---------|------------------|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|---|----|----|----|---|----|---|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|
| 地区 | 学校名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 柏 | 芝浦工業大学柏 | 出12/17~1/12 | (web出願のみ、郵送書類は1/12必着) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | | | | | | | | | | | |
| | 日本体育大学柏 | 出12/17~1/10 | (web出願のみ、郵送書類は1/10必着) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | 試 | 発手 | → | 統 | | | | | | | |
| | | 出12/17~1/20 | (AF・ALのみ) (web出願のみ、郵送書類は1/20必着) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | | | | | | | | | | | |
| | 麗澤 | 出12/17~1/12 | (web出願のみ、郵送書類は1/12消印有効) (海外からの郵送は必着) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | | | | | | | | | | | |
| | 流通経済大学 付属柏 | 出12/17~1/11 | (web出願のみ、郵送書類は1/11必着) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (スポーツ・総合・特選の単願は18Eのみ) | | | | | | | | | | |
| 野田 | 二松学舎大学 附属柏 | 出12/17~1/7 | (web出願のみ、郵送書類は1/7消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (A推薦は17日のみ) (B推薦・一般は17又は19日) | | | | | | | | | | |
| | 西武台千葉 | 出12/17~1/11 | (web出願のみ、郵送書類は1/11必着) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併推I 17日) (併推II・単推18日) | | | | | | | | | | |
| 我孫子 | 我孫子二階堂 | 出12/17~1/7 | (web出願のみ、郵送書類は1/7必着) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (単願・併願/理科17日) (併願/社会学18日) | | | | | | | | | | |
| 我孫子 | 中央学院 | 出12/17~1/9 | (web出願のみ、郵送書類は1/9必着) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (A・C・S特17日) (B I期18日) (B II期・一般19日) | | | | | | | | | | |
| 地区 | 茨城県 | ① | ② | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ⑧ | ⑨ | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ⑳ | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | ㉑ | 30 | 31 |
| 阿見 | 霞ヶ浦 | 出11/1~12/16 | (単・併・一般) 試(単願) | | | | | | | | | | | | | | 発手 | → | 統 | (窓口12/15・16 書類は12/16 消印有効) | | | | | | | | | | | | |
| 土浦 | 常総学院 | 出11/1~12/16 | (単・併・一般) 試(単願) | | | | | | | | | | | | | | 発手 | → | 統 | (窓口12/16まで、書類は12/15必着・1/9予約日) | | | | | | | | | | | | |
| | つくば国際大学 | 出11/7~12/16 | (単・併・一般) 試(単願) | | | | | | | | | | | | | | 発手 | → | 統 | (窓口12/12~16 書類は12/16必着) | | | | | | | | | | | | |
| つくば | 土浦日本大学 | 出10/1~12/22 | (単・併・一般) 試(単願) | | | | | | | | | | | | | | 発手 | → | 統 | (窓口12/16・19 書類は12/22必着 一般のみ1/7窓口受付有) | | | | | | | | | | | | |
| | つくば秀英 | 出11/1~12/22 | (単・併・一般) 試(単願) | | | | | | | | | | | | | | 発手 | → | 統 | (窓口12/13~22 書類は12/22必着) | | | | | | | | | | | | |
| 牛久 | 東洋大学附属牛久 | 出11/15~2/16 | (単・併・一般) 試(単願) | | | | | | | | | | | | | | 発手 | → | 統 | (窓口11/15~2/16 書類は12/18のみ(単・1/7のみ(併・一般)) (書類は12/16必着、窓口12/18のみ(単・1/7のみ(併・一般)) | | | | | | | | | | | | |
| 龍ヶ崎 | 愛国学園大学 附属龍ヶ崎 | 出11/14~2/16 | (単・併・一般) 試(単願) | | | | | | | | | | | | | | 発手 | → | 統 | (窓口12/15・16 書類は12/16消印有効) | | | | | | | | | | | | |
| 取手 | 聖徳大学附属取手 聖徳女子 | 出11/1~12/23 | (併願・併願・一般) 試(併願) | | | | | | | | | | | | | | 発手 | → | 統 | (併願①・一般①) (併願②・一般②) | | | | | | | | | | | | |
| | 江戸川学園取手 | 出11/2~1/10 | (併願・併願・一般) 試(併願) | | | | | | | | | | | | | | 発手 | → | 統 | (併願①・一般①) (併願②・一般②) | | | | | | | | | | | | |
| 埼玉県 | | ① | ② | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ⑧ | ⑨ | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | ⑮ | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | ⑳ | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | ㉑ | 30 | 31 |
| さいたま | 浦和麗明 | 出12/1~1/12 | (単願・併願) (入力は1/5まで、書類は1/12 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/27までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| | | 出1/7~2/3 | (一般) (入力は2/3まで、書類は2/3 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/27までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| | 浦和学院 | 出12/1~1/11 | (単願・併願) (書類は1/11 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/27までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| た | | 出1/13~1/17 | (一般) (書類は1/17 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/27までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| | 浦和実業学園 | 出12/26~1/12 | (単願・併願) (書類は1/12 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/27までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| ま | 大宮開成 | 出12/1~1/10 | (単願・併願) (入力は1/7まで、書類は1/10 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/28までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| | 開智 | 出12/12~1/14 | (併願・併願) (書類は1/14 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/28までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| 越谷 | 叡明 | 出12/1~1/13 | (併願・併願) (入力は1/12まで、書類は1/13 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/24までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| | 獨協埼玉 | 出12/1~1/12 | (併願・併願) (書類は1/12 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/24までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| 春日部 | 春日部共栄 | 出①2/22~1/1 | (併願・併願) (書類は1/11 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/27までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| 杉戸 | | 出②1/24~1/27 | ※再受験は1/29 (書類は1/27 消印有効) ※再受験は試験当日待参 | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/27までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| | 昌平 | 出12/21~1/12 | (併願・併願) (書類は1/12 消印有効) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/27までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| 加須 | | 出1/25・26 | (一般) (書類は1/26必着) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/27までに返納金納入) | | | | | | | | | | |
| | 花咲徳栄 | 出①2/12~1/12 | ③1/24~28(併願・併願) | | | | | | | | | | | | | | 試① | 試② | 発手 | → | 統 | (併願は、1/31までに返納金納入) (単②・併③) 試 発 | | | | | | | | | | |

令和6年度(来春) 千葉県公立高等学校 選抜日程

I. 一般入学者選抜・特別入学者選抜・地域連携アクティブスクールの入学者選抜及び通信制の課程の一期入学者選抜



II. 第2次募集(地域連携アクティブスクールを含む)及び通信制の課程の二期入学者選抜



千葉県公立高等学校の通学区域

1. 県立高等学校の通学区域

県立高等学校の全日制普通科には、志願に関して次のような学区制限があり、その学区内の高等学校を志願しなければなりません。

- (1) 志願者及び保護者の居住する市町村が属し、かつ志願者の在籍あるいは卒業した中学校の所在する市町村が属する学区
- (2) (1)に掲げる学区に隣接する学区

* 女子校（千葉女子高校及び木更津東高校）の2校、専門学科、総合学科、定時制及び通信制の課程には志願に関する学区制限はありません。県内全域から志願することができます。

各市町村の学区

| | |
|------|-------------------------------------|
| 第1学区 | 千葉市 |
| 第2学区 | 市川市 船橋市 松戸市 習志野市 八千代市 浦安市 |
| 第3学区 | 野田市 柏市 流山市 我孫子市 鎌ヶ谷市 |
| 第4学区 | 成田市 佐倉市 四街道市 八街市 印西市 白井市 富里市 印旛郡内全町 |
| 第5学区 | 銚子市 香取市 匝瑳市 旭市 香取郡内全町 |
| 第6学区 | 東金市 山武市 大網白里市 山武郡内全町 |
| 第7学区 | 茂原市 勝浦市 いすみ市 長生郡内全町村 夷隅郡内全町 |
| 第8学区 | 館山市 鴨川市 南房総市 鋸南町 |
| 第9学区 | 木更津市 市原市 君津市 富津市 袖ヶ浦市 |

志願者の受験可能学区（全日制普通科）

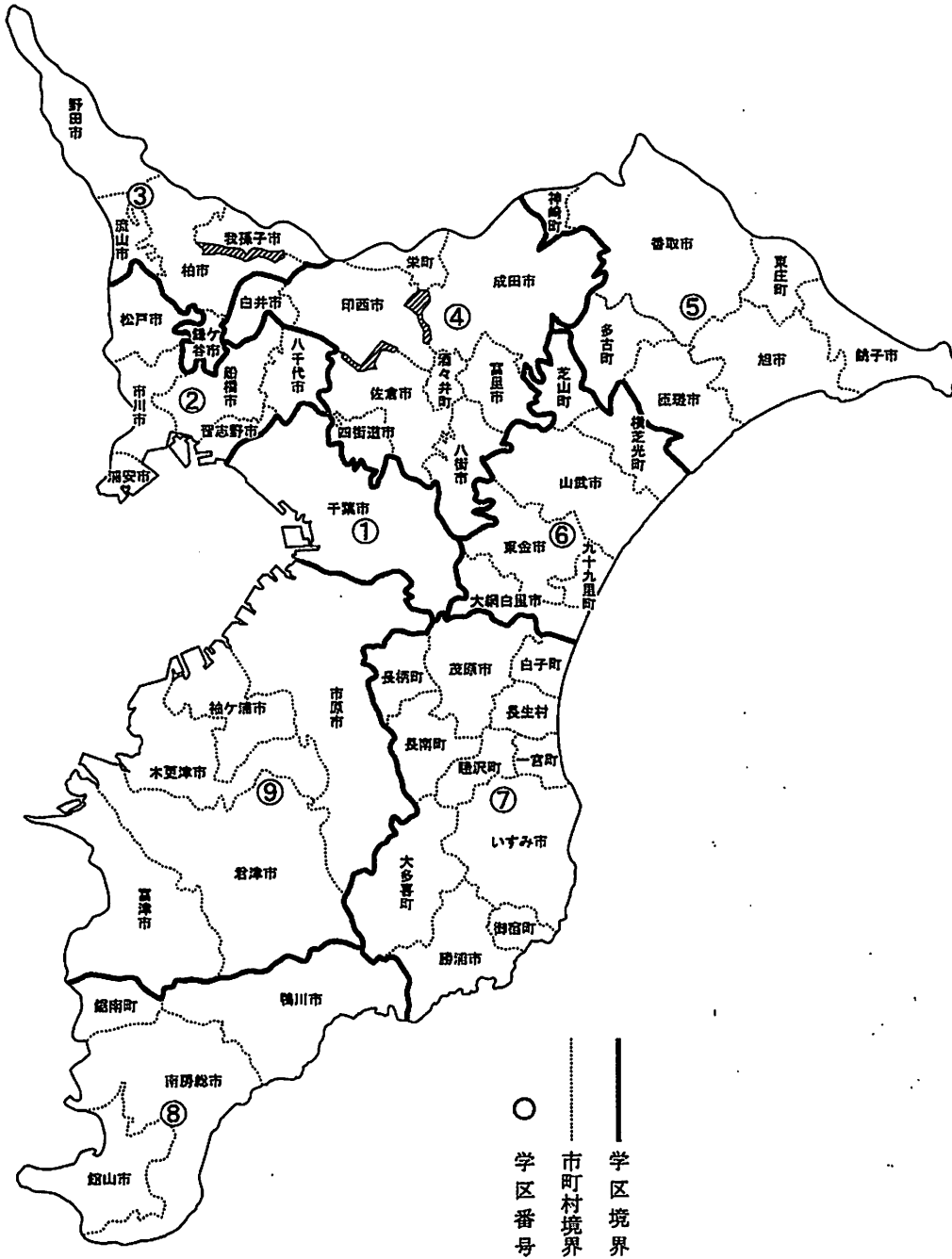
| 居住学区 | 高 校 所 在 学 区 | | | | | | | | |
|------|-------------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | 第1学区 | 第2学区 | 第3学区 | 第4学区 | 第5学区 | 第6学区 | 第7学区 | 第8学区 | 第9学区 |
| 第1学区 | ● | ● | | ● | | ● | ● | | ● |
| 第2学区 | ● | ● | ● | ● | | | | | |
| 第3学区 | | ● | ● | ● | | | | | |
| 第4学区 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | | | |
| 第5学区 | | | | ● | ● | ● | | | |
| 第6学区 | ● | | | ● | ● | ● | ● | | |
| 第7学区 | ● | | | | | ● | ● | ● | ● |
| 第8学区 | | | | | | | ● | ● | ● |
| 第9学区 | ● | | | | | | ● | ● | ● |

2. 市立高等学校の通学区域

市立高等学校の志願については、下記の学区制限があります。

| | | |
|-------------------------|------------------|------------------------------|
| 千葉市立千葉 | 普通 | 千葉市内のみ可能（本人及び保護者が千葉市内に居住する者） |
| | 理数 | 県内全域から可能 |
| 千葉市立稲毛 (令和6年度入試まで募集) | 普通 | 千葉市内 |
| | 国際教養 | 県内全域 |
| 習志野市立習志野 | 普通 | 第1・第2・第3・第4学区の市町（県立高校と同じ扱い） |
| | 商業 | 県内全域 |
| 船橋市立船橋 | 普通 | 第1・第2・第3・第4学区の市町（県立高校と同じ） |
| | 商業 | 県内全域 |
| | 体育 | 県内全域 |
| 松戸市立松戸 | 普通 | 第1・第2・第3・第4学区の市町（県立高校と同じ） |
| | 国際人文 | 県内全域 |
| 柏市立柏 | 普通 | 第2・第3・第4学区の市町（県立高校と同じ） |
| | ｽﾎｰﾌﾟ科学 | 県内全域 |
| 銚子市立銚子 | 普通・理数 (くくり募集) | 第4・第5・第6学区の市町（県立高校と同じ） |

県立高等学校全日制の課程普通科通学区域図



中学校3年生・保護者の皆様へ…

千葉県私立高校保護者の 負担軽減・支援に関するお知らせ

＝令和5(2023)年度版＝

就学支援金

国の制度



私立高校に在学する生徒に
就学支援金が助成されます。

授業料減免制度 入学金軽減制度

千葉県の制度



保護者の授業料負担を
軽減するための制度です。

奨学のための給付金

千葉県の制度

経済的な理由により
教育費負担が厳しい世帯に
給付金を支給します。

奨学金

千葉県の制度



私立高校生が利用できる
奨学金制度です。



千葉県私立中学高等学校協会

① 就学支援金（国の制度）

令和2年4月より就学支援金制度が拡充され、私立高校授業料が実質無償化となります。

〈全日制課程〉

| 判定基準※2 | 年収の目安※1 | 就学支援金 支給額(月額) | |
|-----------------------|---------------|------------------|---------|
| 154,500円未満 | 0円～約590万円 | 上限 | 33,000円 |
| 154,500円以上、304,200円未満 | 約590万円～約910万円 | 基本額 | 9,900円 |
| 304,200円以上 | 約910万円以上 | 対象外 | |

〈通信制課程〉(単位制授業料の場合) ※学校により、全日制課程と同様に支給される場合があります。

1単位ごとに4,812円が支給されます。(1単位あたりの支給額÷履修期間×登録単位数(年間30単位まで))
公立通信制高校同様に年間30単位まで、卒業までの通算74単位が上限です。

| 判定基準※2 | 年収の目安※1 | 就学支援金 支給額(月額) | |
|-----------------------|---------------|------------------|---------|
| 154,500円未満 | 0円～約590万円 | 上限 | 12,030円 |
| 154,500円以上、304,200円未満 | 約590万円～約910万円 | 基本額 | 4,812円 |
| 304,200円以上 | 約910万円以上 | 対象外 | |

※1 年収の目安は、4人家族世帯の概ねの目安です。

※2 判定基準計算式:市区町村民税課税標準額×6%－市区町村民税調整控除額(政令指定都市の場合は「調整控除額」に3/4を乗じて計算します。)

○保護者等の所得などは、マイナンバーカード制度による情報連携や課税証明書(市町村役所で発行)などで確認します。

○支給額は、1ヶ月あたりの上限度です。授業料が支給額を下回る場合は、支給額＝授業料(月額)となります。

○私立高等学校入学後に学校を通じて申請します。

② 授業料減免制度（千葉県の制度）

千葉県では、私立高等学校に在学する生徒を対象に、保護者の授業料負担軽減のため、授業料の全額または一部(2/3)を補助する制度があります。(返済する必要はありません。)

千葉県外の私立高等学校に在学している生徒は、対象になりません。

授業料減免制度の申請は、私立高等学校入学後に申請します。

| 保護者の経済的な状況 | 年収の目安 | 補助限度 |
|---|-------------------|--|
| ①生活保護を受給されている世帯 ②市区町村民税課税標準額×6%－市区町村民税調整控除額が175,500円未満 | 0円～ 約640万円 | 月額授業料から就学支援金を除いた額 |
| ③市区町村民税課税標準額×6%－市区町村民税調整控除額が、175,500円以上、227,100円未満 | 約640万円～ 約750万円 | 月額授業料の2/3(ただし、20,500円を上限とする)から就学支援金を除いた額 |

※保護者等の所得などは、マイナンバーカードの写しや、課税証明書(市町村役所で発行)などで確認します。

①+②国と千葉県の支援事業の概要

| 対象者 世帯年収(保護者合算額)により支援 | 支援金額(月額) | | | | |
|--------------------------|-------------------|---------------------|---------------|---------|-----------|
| 世帯年収程度額(目安) | 就学支援金制度 (国制度)① | 授業料減免制度 (千葉県制度)② | 総支援額 (①+②) | | |
| 約590万円未満 | 33,000円 | 就学支援金を除いた 授業料全額 | 授業料全額 | | |
| 約590万円～約640万円未満 | 9,900円 | | | 10,600円 | 上限20,500円 |
| 約640万円～約750万円未満 | | 0円 | 9,900円 | | |
| 約750万円～約910万円未満 | | 0円 | 0円 | | |
| 約910万円以上 | 0円 | 0円 | 0円 | | |



①+②申請の流れ 高校等に入学後申請が必要です。

申請の具体的な方法は、学校を通してご案内します。

- 申請後、高校等での確認や千葉県での審査を経て、就学支援金や授業料減免補助金が学校へ交付されます。
- 就学支援金・授業料減免補助金は、生徒本人や保護者等の方は直接受け取れません。
学校が生徒や保護者等の方に代わって受け取り、授業料と相殺します。
- なお学校によって、一旦授業料を納め、後日返還する場合がありますので、詳細は学校に直接お問合せください。

入学金軽減制度 (千葉県の制度)

千葉県では、私立高等学校に在学する生徒を対象に、保護者の経済的な理由により入学金の納入が困難な場合に、入学金を軽減(入学後に還付)する制度があります。(返済する必要はありません。)

千葉県外の私立高等学校に在学している生徒は、対象になりません。

入学金軽減制度は、私立高等学校入学後に申請します。

| 保護者の経済的な状況 | 年収の目安 | 入学金補助額 |
|--|-----------|---------------------|
| ①生活保護を受給されている世帯 ②市区町村民税課税標準額×6%－市区町村民税調整 控除額が51,300円未満 | 0円～約350万円 | 入学金全額補助 (上限15万円) |

※保護者等の所得などは、マイナンバーカードの写しや、課税証明書(市町村役所で発行)などで確認します。

奨学のための給付金（千葉県の制度）

保護者等の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税、又は生活保護受給世帯の授業料以外の教育費負担を軽減するため、奨学のための給付金制度があります。保護者等が、千葉県内在住が要件となります。

| 支給区分 | | 支給額(年額) |
|---|--|----------|
| 生活保護(生業扶助)を受給されている世帯の高校生等(専攻科に通う高校生等は除く。) | | 52,600円 |
| 保護者等の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税である世帯の高校生等 | (1)以下の(2)～(5)を除く全日制・定時制の高校生等 | 137,600円 |
| | 当該世帯に扶養されている (2)全日制・定時制の私立高等学校等に在籍している兄弟姉妹がいる第2子以降の全日制・定時制の高校生等 (3)全日制・定時制の国公立高等学校等に在籍している兄弟姉妹がいて、私立高等学校等に在籍している高校生等の中で最年長ではない全日制・定時制の高校生等 (4)通信制・専攻科の高等学校等に在籍している兄弟姉妹がいる全日制・定時制の高校生等 (5)高等学校等に在籍していない15歳以上23歳未満の兄弟姉妹がいる全日制・定時制の高校生等 | 152,000円 |
| | (6)通信制・専攻科の高校生等 | 52,100円 |

奨学金

私立高校生も利用できる、千葉県の奨学金制度です。

奨学金は、本人が高校を卒業後、定められた期間で返済を要します。

大学等へ進学した場合の在学期間の返済猶予制度もあります。

千葉県奨学資金は、私立高校入学後に申請しますが、高校進学のため中学校3年生時に奨学金を予約する制度もあります。

千葉県奨学資金以外に、学校独自の奨学金制度や特待生制度を設けている私立学校がありますので、各学校にお問い合わせください。

| 名 称 | | 千 葉 県 奨 学 資 金 |
|----------|----------------------|---|
| 実 施 | | 千葉県教育委員会（教育庁財務課） |
| 問 合 せ 先 | | ☎043 (223) 4027 |
| 補助（貸付）月額 | | 10,000円・20,000円・30,000円から選択 |
| 対 象 | 居 住 要 件 | 保護者が県内在住 |
| | 成 績 要 件 | なし |
| 者 | 収 入 要 件 ※親権者全員の収入 | 〈参考〉4人世帯 給与所得の世帯=約735万円以下 給与所得以外の世帯=約340万円以下 |
| | そ の 他 の 要 件 | ・修学意欲があり、性行が正しい者 ・母子・父子・寡婦福祉法に基づく修学に必要な資金の貸付を受けていない者 ・経済的理由により修学が困難な者 |

私立高校保護者の負担軽減に関するお知らせ掲載のホームページ

- 千葉県の修学援助制度

<http://www.pref.chiba.lg.jp/>
(千葉県ホーム>教育>私立学校>学費等の助成制度)

- 千葉県教育委員会

<http://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/>
(千葉県教育委員会ホーム>財務課>奨学金・就学援助)

- 千葉県私立中学高等学校協会

<http://chibashigaku.jp/>
(千葉県私立中学高等学校協会ホーム>奨学金制度)

